

2017

ぼうげん びりあ

 3
月号

No.285

ホームページ <http://www.hahashochu.ogasawara.ed.jp/>

結 ～希望の春に向かって～

校長 佐藤 優

3月の声を聞くころから、母島の日差しはさらにまぶしくなり、鳥たちもさえずり、小笠原には春が訪れています。

子供たちは、この1年間で、学習、生活、そして、心の面など1人1人が大きな成長を遂げました。子供はもともと好奇心旺盛、いろいろなことに興味関心を示します。この意欲が継続すれば、子供たちは主体的に学び、新しい知識を身に付け必要な技能を習得していくことでしょう。体験する機会を多く作り、努力して、自分でできるようになったり、わかるようになったりすることの喜びや達成感を味わわせることができるように支援をしてまいりました。毎日の学校生活の中で、継続して努力してきたことや体験してきたことが、子供たちの成長につながったのです。この確実な成長をご家庭のみなさんと確かめ合ってください。そして、今の学年での生活や学習をもう一度振り返り、力を付けた自分に自信と誇りをもって、4月からの新しい生活をスタートしてほしいと思います。

さて、在校生のよき手本となり、多くの行事や様々な活動のリーダーとして期待に応える活躍をしてきた卒業生も、卒業のその日まで後13日となりました。本年度も、第42回卒業生として、6年生4名、中学校3年生1名が、多くの成果や思い出を胸に巣立ちの日を迎えます。

表題の「結」という漢字には、連結するという意味もあれば、終結、終わるという意味もあります。まさに、この3月がそういう時期です。現在の学年が終わり、次の学年に連結するという事は、単に暦が進む、時が経過するという事だけではありません。今の学年で身に付けるべきことをしっかり修めたか、また、次学年での課題がわかり、それに向かう心構えができているか、自分の学校生活を考える時でもあります。卒業生たちは、卒業式そのものの準備もさることながら、進級・進学のための自立に向けた諸活動を最後のまとめとして頑張っているところです。卒業生も在校生も、お互いの心が1つになって、すばらしい感動を呼び起こす母島らしいあたたかい式になることを願っています。



本年度も、学校目標の「心豊かにたくましく生きる」のもと、主体的に取り組む子供たちの育成を目指し、教職員一丸となって様々な教育活動に取り組んでまいりました。次年度は、さらに充実した教育を展開し子供たちがステップアップしていくように努力を続けてまいります。

この1年間の保護者、地域の皆様方、関係諸機関の皆様方には、本校の教育にご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございました。平成29年度も、母島小中学校に、なお、一層のご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

～卒業に向けて～

小学校6年担任 堀江 信吾

「燃えろ、ファイヤー。」〇〇君の気合いの入った掛け声が観衆を大いに盛り上げた運動会。「〇〇やるじゃん。」小笠原小の子達とあっという間に仲良くなった心君にとって、父母学習交流はかけがえのない思い出。「みんなを守りたい！」4、5年生をリードして劇を仕上げにいった〇〇君の姿は最高学年として頼もしい限りでした。「次は10秒タイムを縮めよう。」毎回の練習に一生懸命取り組んだ〇〇さんの4km走の記録は、今年だけで1分以上縮まりました。

4人それぞれ、目標を達成した瞬間の表情が今でも思い出されます。それは、もちろんその時の輝く瞳や笑顔でも感じられます。けれど本当はそこに至るまでに4人が悩んで、苦しんで、努力を重ねて重ね尽くした上での結果が表れた瞬間だったからだと、私は知っています。

1つの節目となる卒業式の間。その中で彼らが今まで彼らを温かく見守ってくださった家族の皆様や地域の方々、全ての方に120%の感謝の気持ちを伝えられるように。大きく成長した彼らの最高の笑顔を見せられるように。最後の1ヶ月の一日一日を大切に過ごし、共に気持ちを作りあげていこうと思います。



同じ校舎でも ～6年生お別れ遠足&送る会～

学級支援 大河原 常吉

「中学校になるとあまり関わりがなくなってしまうけど…」2月17日に行われた「6年生を送る会」での〇〇さんの言葉です。

ご存知のように、母島小中学校は小中が同じ校舎で学習しています。ただ、校舎は同じでも「小学生から中学生になる」ということは卒業生、在校生双方にとってとても大きな変化となります。

例えば、小中の生活時間は違いますし、一緒に何かに取り組む機会や、学習に忙しくなることで以前のように一緒に遊ぶことも少なくなるでしょう。そして、我々小学校教員と彼らが接する機会も時間も、思っている以上に少なくなってきます。

校舎は同じでも、「小学校を卒業する」というお別れは、子供たちにとって、私たち大人が考える以上のお別れである。そんな風に思います。

さて、「お別れ遠足&送る会」。朝着込んできた上着を脱いで半袖になるような陽気の下、全校児童で並んで脇浜へ。5年生が考えてくれた魚サン飛ばしやサンドアートといった、「めったにない、全校児童がそろって外で遊ぶ」という機会に皆、大はしゃぎしていました。

午後は、体育館に戻っての「6年生を送る会」。各学年が6年生のために用意してくれたのはこんな出し物でした。

1年生「6年生だーいすき」：卒業していく6年生へ詩の朗読と、かわいいハグのプレゼント。

2年生「5人の王様」：王様のコスプレ（6年生）をただで、ただのじゃんけんが白熱したバトルに。

3年生「6年生かるた」：6年生との思い出やいいところを「ナイスなかるた」にまとめました。

4年生「インタビューゲーム」：一番好きな場所は？の問いに「船」と答えるあたり島の子ですね。

5年生「6年生のことを想像するゲーム」：各チームの珍解答に6年生が見事なアドリブで返しました。

卒業していく6年生との日々の一日一日が、行事の一つ一つが、別れをそして新たな出会いを良いものとする大切なことだと思います。

同じ校舎。でも中学生になっていく4人。彼らと在校生とがなるべく多くの時間、一緒に関わりあいながら過ごさせてあげたいと思います。

人はどんな時に幸せを感じるでしょうか。何気なく過ごしている日々の中に、幸せを見出すことはなかなか容易ではありません。苦労して、悩む経験をしたからこそ、葛藤が晴れたとき、希望の兆しが見えたときに「幸せ」を感じるのだと思います。



卒業まであと数日となった今、卒業アルバムの写真を選びながら、中学校3年間を振り返りました。〇〇さん、中

学校入学時の新入生は彼女一人でした。「あなたならどう考える？」と意見を求める相手は、同い年の生徒ではなく大人であることの方が多かったと思います。当然、学校生活の中で任される役割はとても多く、何かと忙しい日々でした。しかし、「う～ん、どうやったら面白くなるのかな？」と、いつも相手の顔を思い浮かべて、その人が笑うための手段を必死に考えていました。



修学旅行先の京都で、襖絵師の村林由貴さん、ウクレレ・ギタリストの大江和基さん、森田大地さんにお会いしたとき、私たちのためにコンサートをして下さいました。日本一小規模な修学旅行だったに違いない、3名での旅。しかし、もてなして下さるその気持ちは、例年に変わらず熱いものでした。「母島に行ったとき、〇〇ちゃんがケーキを焼いて宿まで持ってきてくれたことが、嬉しくて忘れられない。」と、村林さんは笑顔で語っていました。旅行最終日の面会でも、多くの方が〇〇さんのために集まって彼女を囲みました。いつも人を思う気持

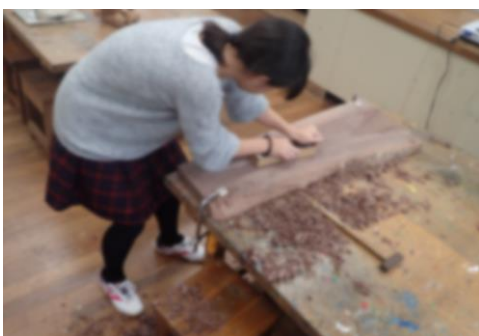
ち、大切にしようとする気持ちをもっているからこそ、そんな〇〇さんに会いたいと思って多くの方たちが集まって下さったのだと感じます。

日常となっていた一対一の授業の中で、和やかな雰囲気を作るのは〇〇さんでした。教員の言葉にすかさず突っ込みを入れるそのセンスは達人レベルです。授業中、話が逸れていくこともしばしばありましたが、一人で担う役割が多い中、時間はかかるけれど着実にやるべきことを果たしてきました。



私はここ母島で一人の担任をもつことができたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。きっと、一生味わえない経験をこの1年間でさせても

らいました。中学2年生の途中までは同じくらいだった身長も、今では完全に抜かれてしまいました。「今日の〇〇模様はどうだった？」と聞く帰りの学活もあと残り数回です。「晴れです！」と屈託ない元気いっぱいだった表情が、今はぐっと大人びたように感じます。何と言ったって、中学3年間を彼女は学年一人で務めあげました。3年間を振り返ると、大変なことの方が多かったと思います。上手くいかない自分に悶々とした日々があったと思います。それでも、その背中を見ていた人たちがいます。



もうすぐ、一人の中学3年生が母島を巣立ちます。卒業後の彼女も、これまでと変わらず誰かの幸せのために考えられる人であり続けるでしょう。私はそんな彼女の可能性を信じ、これからもずっと、応援し続けます。頑張れ、〇〇！

3月の生活指導

生活目標

「1年間のまとめをしよう。」

- ・ 1年間の学習や生活を振り返ろう。
- ・ 卒業式を成功させよう。
- ・ 進級・卒業への心構えや準備をしよう。

安全指導

「1年間を振り返り、来年度へ向けて」

今年度の生活の様々な場面で安全に過ごすために気を付けたことや、身に付けたことを確認し、来年度への反省点や継続していくことなどをまとめ、校内外で安全に過ごす態度を育てます。

避難訓練

予告なし

地震により火災が発生し、電気系統が使用不能になった場合を想定した避難訓練を行います。

今年度訓練を重ねてきた避難訓練の指導事項が児童生徒に身に付いているかを確認し、再度指導を徹底します。実施日・実施時刻の予告はありません。



見送り式・出迎え式の予定について

3月20日(日)

見送り式

3月29日(水)

見送り式

4月2日(日)

出迎え式



※見送り式・出迎え式の日程が追加される場合は、連絡網、一斉メールでお知らせします。

表彰のお知らせ

東京都防災標語コンクール優秀作品

「守ろうよ 大切な命 いちばんに」

中学校1年生

◇小中学校玄関前に標語ののぼり旗が立っています。

3月の主な行事予定

			15	水	
1	水	(中)期末考査3日目 (村)テニス教室	16	木	卒業式予行 周辺美化
2	木	保護者会(小1・2)	17	金	卒業式前日準備
3	金	保護者会(小3・4)	18	土	(母島保育園卒園式)
4	土		19	日	第42回母島小中学校卒業式(午前中)
5	日		20	月	春分の日 見送り式
6	月	朝礼(安全指導) (全)思考力チャレンジ5h 保護者会(小5、6) (中)新入生保護者説明会	21	火	振替休業日
7	火		22	水	
8	水	カレーの日(小6)	23	木	(中)卒業行事
9	木	保護者会(中)	24	金	修了式 離任式
10	金		25	土	
11	土	(小笠原高校卒業式)	26	日	
12	日	P T A納会・歓送会	27	月	春季休業日始 図書館開放
13	月	小中朝礼(小5、中2、中3)	28	火	
14	火		29	水	見送り式
			30	木	